

Port of Hachinohe

No. **13**
Jun 2004

---Maritime & Trade Report---

- 八戸港国際物流拠点化推進協議会定例総会
- Welcome to Hachinohe...WSL社長ご来八
- 「八戸セミナー2004」開催のお知らせ
- 八戸市海外経済協力員レポート
- 上海の水産物市場
- 青森県輸入住宅促進協議会ニュースレター

平成16年度定例総会開催

八戸港国際物流拠点化推進協議会は、去る4月27日、平成16年度定例総会を八戸パークホテルで開催しました。

八戸港は、皆様のお陰をもちまして今年で国際コンテナ定期航路開設10周年を迎えました。近年、東北各港湾間での競争も厳しさを増してきておりますが、八戸港が国際物流拠点港として益々発展していくことを目指し、今年度の事業計画を決定しました。

主な事業計画は次のとおりです。

事業計画

- ・海外ポートセールス
中国・韓国ミッションの派遣
台湾ミッションの派遣
- ・国内ポートセールス
首都圏におけるポートセミナーの開催（詳細は3ページ）
北東北におけるポートセミナーの開催
- ・各種補助金制度
八戸港コンテナ輸送トライアル補助金の交付（詳細は3ページ）
八戸港青果物等貿易促進補助金の交付（詳細は3ページ）
八戸港共同輸送事業支援補助金の交付

今年度も八戸港の利用拡大と貿易の一層の促進を目指し積極的な活動を行って参ります。



協議会会長あいさつ



審議中の役員と事務局

RORO船定期航路開設

八戸港－東京港間に、トレーラーやシャーシ（台車）に積載されたコンテナなどを輸送する「ロールオン・ロールオフ（RORO）船」の定期航路が開設され、第一便が4月12日に八戸港へ入港しました。

この航路は、近海郵船物流株式会社が運航し、「ろーろーえりも」「ろーろーひだか」（各5,930ト）の二船体制で、東京港－苫小牧港－八戸港を結んでいます。八戸港には日、

火、木、金曜日の週4回寄港し、八戸－東京間は24時間弱でつながれます。

昨年来、首都圏でのディーゼル車乗り入れ規制など、大型車への規制強化が相次いでいるため、これまで陸上輸送を利用していた荷主の皆様にとって、輸送ルートを再検討する良い機会となるのではないかと考えられます。八戸港の活発な利用が期待されます。

新造船 パシフィック・エタニティ号 入港記念祝賀会開催

去る3月25日、大太平洋金属株式会社向けのニッケル鉱石輸送船「パシフィック・エタニティ号」（載荷重量：46,683ト）が八戸港に入港し、入港記念祝賀会が行われました。

この船は、今年1月に竣工した新造船で、ステンレスの原料であるフェロニッケルを生産する大太平洋（Pacific）金属株式会社と船主との関係が今後とも末永く継続される様

にと、「永遠なる」（Eternity）の意をこめて命名されました。

最新式の*グラブバケットを装備し、ニッケル鉱石の付着を大幅に減らすことができるため、より効率的な荷役ができるようになりました。

祝賀会では、大太平洋金属株式会社の村井浩介社長らの挨拶、花束贈呈、鏡開きなどのセレモニーが行われました。



関係者による記念撮影 パシフィック・エタニティ号の前にて

*グラブバケットとは、クレーンなどの先に取り付け、石炭・土砂などをつかみ取るのに使われる装置です。今回、装備されたものは、ニッケル鉱石の付着を減らすため、構造をシンプルにし、内部材にステンレス製のプレートを使用しています。

.....Welcome to Hachinohe

ウェストウッド・ SHIPPING・ライズ社 ローレンス社長ご来八

去る5月11日、北米航路を運航している船会社「ウェストウッド・ SHIPPING・ライズ（WSL）社」の社長 クレイグ・ローレンス氏が来八し、八戸港国際物流拠点化推進協議会主催による、歓迎夕食会を八戸グランドホテルにおいて開催しました。

夕食会には会長である八戸市長をはじめ港湾関係者ら22名が参加しました。

初めに、八戸市長が歓迎のあいさつを述べ、ローレンス社長からはウェストウッド・ SHIPPING・ライズ社の現状等についての説明がありました。

続いて、同社の船舶・集荷代理店である八戸港湾運送株式会社と、八戸港国際物流拠点化推進協議会からそれぞれ記念品を贈呈し、これに対しローレンス社長から、今年末に完成予定の新造船の模型をいただきました。

昨年の八戸港北米コンテナ定期航路交流ミッションの思い出を語り合うなど、終始和やかな雰囲気での夕食会となりました。

この夕食会を機に、両地域の交流が益々盛んになり、北米航路の発展につながることが期待されます。



参加者の記念撮影 ホテル内にて

八戸港国際コンテナ定期航路開設10周年記念 「八戸セミナー2004」

～港・産業・新エネルギー～

日時：平成16年7月6日（火）15：30～19：00
場所：経団連会館（東京都千代田区大手町1-9-4 TEL 03-5204-1757）
内容：◆八戸セミナー14階経団連ホール 15：30～17：05

- ごあいさつ及び八戸市の紹介 八戸市長 中村 寿文
- 八戸港の概要説明 青森県県土整備部港湾空港課
港湾振興グループリーダー 総括副参事 佐藤 幸道

●講演

「アルバック東北・八戸を拠点として海外へ」

講師：アルバック東北(株) 代表取締役社長 小野 信一 氏

「水素エネルギーの動向と八戸における新たな産業振興の可能性」

講師：(株)三菱総合研究所 主任研究員 金田 武司 氏

●質疑応答

◆情報交換会 12階ダイヤモンドルーム 17：10～19：00

ご出席いただいた皆様との交流の場をご用意しております。
立食形式（無料）となっておりますので、お気軽にご参加ください。



昨年のセミナーの様子

主催 八戸市・八戸港国際物流拠点化推進協議会・八戸市企業誘致促進協議会
後援 青森県・日本政策投資銀行・日本貿易振興機構（ジェトロ）・地域振興整備公団・青森県企業誘致推進協議会・八戸商工会議所

申し込み・お問い合わせ先

八戸市経済部産業政策課内
八戸港国際物流拠点化推進協議会事務局
TEL 0178-43-2111（内線308・609）

補助金制度のお知らせ

○八戸港コンテナ輸送トライアル補助金制度

この制度は、国内に1年以上事業所を有し、平成12年4月1日から平成14年3月31日までの間に八戸港外貿コンテナ定期航路を利用されたことのない企業の皆様が、八戸港のコンテナ航路を利用された場合、船荷証券（B/L）1件につき5万円を補助するものです。1荷主につき3回まで利用することができます。

両補助金とも、予算の範囲内での補助となりますので、件数に限りがございます。お早めにお申し込みください。

お問い合わせ先
八戸市経済部産業政策課内 八戸港国際物流拠点化
推進協議会事務局
TEL 0178-43-2111（内線308・609）

○青果物等貿易促進補助金制度（くん蒸補助金制度）

この制度は、植物検疫対象品目のコンテナ貨物で、検疫の結果、くん蒸が必要になった場合、くん蒸上屋1室1回の利用につき5万円を補助するものです。これまでに、たまねぎ、りんご、原木等の輸入の際に利用されています。



仙台市議会議員FAZ関連施設視察

去る5月13日、仙台市議会議員の方々がFAZ指定地域の視察のため、(株)八戸港貿易センターを訪れました。

仙台市では仙台港が平成7年3月にFAZ指定を受け、東南アジア・中国・北米・韓国との定期コンテナ航路が開設されています。また、平成13年4月には仙台塩釜港として特定重要港湾に指定されています。

今回視察に訪れたのは仙台市議会議員10名で、国際物流ターミナルをはじめとした八戸港の港湾施設見学の後、リ

サイクルポートの中核を担う工業地帯をバスで見学し、その説明を受けました。

その後、八戸港貿易センタービルにおいて八戸港の貿易概況や定期コンテナ航路、八戸港貿易センターの業務概要などの説明が行われました。その後は仙台塩釜港の現状も含め、FAZ指定地域の今後の展望などについて活発な意見交換を行いました。



仙台市議会議員視察

八戸港貿易センター施設のご案内

ポートアイランドにあります(株)八戸港貿易センターでは、賃貸オフィスと大小会議室、多目的ホール（ポートルホール）を提供しております。

貸室は冷暖房、電話・FAX・コンピュータ用回線、光ケーブル通信システム、OAフロアの設備を完備しています。1階多目的ホール（ポートルホール）は研修会・会議・見本市・展示会・即売会・セミナー等にご利用いた

けます。

入居及び施設のご利用についてはFAZメンバーズ・八戸港貿易センター株主・貿易関連企業等に優遇制度があり、無料の駐車場もございます。どうぞご利用下さい。

詳しいお問い合わせは
(株)八戸港貿易センター（TEL 0178-72-1505）まで。
<http://www.hptc.co.jp>

●賃貸オフィスご案内

(2004年5月現在)(金額は税込み)

- 賃貸料 2,310円/㎡
共益費808円/㎡
- 部屋タイプ (各階)
33.7㎡ (10坪) × 3
67.5㎡ (20坪) × 5



2Fショールーム

●多目的ホールご案内

(金額は税込み)

- 面積 350㎡ (100坪)
- 料金 6,090円/1時間



1階ホール

●会議室ご案内

(金額は税込み)

- 料金 大会議室 (50坪)
2,625円/1時間
小会議室 (20坪)
1,050円/1時間



会議室

青森県の貿易担当セクション強化

青森県の平成16年度組織改正に伴い、貿易担当のセクションが文化観光部文化観光推進課から農林水産部総合販売戦略課に移行しました。

今回の組織改正は、三村知事の掲げる「攻めの農林水産業」を実現するため、県庁内にある販売担当部門を一つにまとめ、より効率的な販売戦略に基づいて県産品の県内外、国内外への消費拡大を図っていくことを目的になされたものです。これにより農林水産業、商工業、観光業等が一体

となって事業推進する体制が確立されることとなりますので、よろしくお願い申し上げます。

**貿易担当 青森県庁農林水産部総合販売戦略課
消費宣伝グループ**
TEL 017-734-9607
FAX 017-734-8158

平成16年度青森県貿易関連施策について

●海外物産展の開催

海外における県産品の販路拡大のために、青森県産品の購買意欲の高い国において物産展を開催し、県産品の認知度の向上を目指します。

- ・開催地：タイ国、香港、台湾
- ・開催年月日：平成16年11月～平成17年2月

●海外見本市への参加

アジアで開催される国際見本市に参加し、県産品の魅力を広く紹介します。

- ・開催地：中国(上海)、韓国(ソウル)、タイ国(バンコク)
- ・開催年月日：平成16年11月～12月

※左記事業は、社団法人青森県物産協会が事業主体として実施し、県が補助する等連携して実施するものです。



タイ物産展の様子

「八戸地域洋上風力発電導入可能性調査」まとまる

八戸港内や沿岸域など、八戸地域での洋上風力発電導入を目指す八戸市は、平成15年度において「洋上風力発電導入可能性調査」を実施してきましたが、この度調査報告書が完成しました。

調査は市の委託を受けた(社)海洋産業研究会が実施し、八戸港内で立地可能性のあるゾーンを4ヶ所設定し、それぞれについてのメリットやデメリット、また、導入の際に考慮しなければならない技術的・法的課題や環境面での課題などを整理しました。

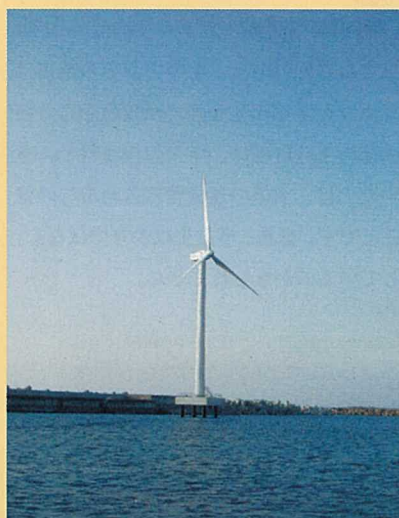
また、電気の利用法についても、特区を活用した電力供給や電力の水素化、漁業協調型システムなどの提案がなされています。

さらに、民間事業者・NPO等を対象としたアンケート調査によると、洋上風力発電に関心があるとする回答が80%、洋上風力発電を実現すべきとの回答も84%となっており、導入検討に前向きな意見が寄せられているものの、事業主体として参加したいとの回答は8.7%にとどまっています。今後は事業主体となりえる企業・団体の創出が課題であることがわかりました。

調査の結果、課題はあるものの、風況データを見ると陸上より海上で安定した強い風が吹いている事が確認され、洋上における風力発電事業展開の可能性は十分にあると

し、実現した場合には、全国に先駆けた先進モデルとなり、地域への多大な経済波及効果が期待されることから、取り組む意義は非常に大きいとされています。

今後は、報告を受け、より効果的な組織体制を整え、発電から電力供給までを見据えた多様な視点で検討を進めて参ります。



北海道 瀬棚町の洋上風車

市で取りまとめた「八戸地域洋上風力発電導入可能性調査報告書」は、八戸市建設部港湾河川課にて配布いたしております(数に限りがございます)。

お問い合わせ先
八戸市建設部港湾河川課
TEL 0178-43-2111
(内線) 338

八戸市海外経済協力員レポート

八戸市は、2004年6月現在、海外在住（香港、シンガポール、ワシントンD.C、タコマ、マニラ）の5名に「八戸市海外経済協力員」を委嘱し、協力員には現地の出来事や経済状況をレポートして頂いております。

また、八戸地域の企業等が協力員の在住都市を訪問する際には、協力員に現地事情の説明等をして頂けることになっておりますので、ご希望の方は八戸市経済部産業政策課（TEL0178-43-2111 内線308）までご連絡ください。

REPORT 1

ワシントンレポート



世界銀行
上席都市環境専門官
慶長 寿彰さん

故郷八戸の皆さん、こんにちは。もう大分前ですが、僕はアメリカのオクラホマ大学で修士号を取りました。とは言っても、ほとんどの単位は米軍三沢基地内のオフキャンパス・プログラムで取ったんです。先日、オクラホマ州のその母校から手紙が来ました。ファンド・レイジングの要請です。早い話が、寄付のお願い。まあ、現在僕がこうしてアメリカで暮らし、世界中へ出張して好きな仕事ができるのもこの大学のおかげなので、毎年最低限の寄付はするようにしています。寄付をすると、大学のニュース・レターや会報が年に何回か送られてきます。

昨日届いたその手紙によると、過去5年間にのべ7万2千人の卒業生が、オクラホマ大学に寄付をしているということです。年間平均1万4千人で、一口50ドルからなので、最低でも年間70万ドル集めています。実際は、100ドル、200ドルと寄付する人もいるはずなので、その数倍は集まっているでしょう。オクラホマ大学は州立なので州政府からの補助金が与えられていますが、その他の主な財源は、学生の授業料と、さらにこの寄付金だそうです。驚いたのは、大学の運営費に占めるこの寄付金の割合が50%以上だということです。まあ、卒業生ばかりではなく、いろいろな企業が大口の寄付をしているのかもしれない。

僕は日本では、某国立大学を卒業しましたが、その日本の母校からは、ただの一度も寄付の要請を受けたことがありません。国立大学だから、国からの補助金がかかり注ぎ込まれているのでしょうか。日本は税金で強制的に集めて、お上がそれを分配する。アメリカは市民が寄付をしたいところに寄付をする。これは実に対照的なことですが、この日米の違いは、何も大学への寄付に限ったことではないような気がします。税金で分配するより、個人の意思による寄付に頼った方が、寄付をするかしないか、そして寄付をする場合でも、金額や寄付をする相手を自分で決められるという利点があります。何も自分の母校に寄付をしなくても、いい研究をしていると思う大学があれば、そっちに寄付をしてもいいんです。そうすることで、大学同士の切磋琢磨に繋がるかもしれません。ということで、今年もアメリカの母校に50ドル寄付します。最低金額ではないんですが…。

その他、アメリカの首都ワシントンでの生活や仕事については、以下のホームページをご覧ください。 <http://www.keicho.com/>



オクラホマ大学





朝日新聞インターナショナル
主任
樋口 見子さん

今回はシンガポールに昨年の10月オープンした「北海道・北東北（青森・秋田・岩手）三県シンガポール事務所」についてお伝えします。

淡路島、東京23区ほどの面積に外国人も含めて総人口約400万人（5人に1人が外国人）のシンガポールには、現在約2万人の日本人が住み、東南アジア経済の中心的な存在です。

約800社の日系企業が進出しており、日本人会や商工会議所、JETROなどサポート体制も整っております。さらに県規模でもサポートできるよう、近年、北海道や広島、高知、大阪府・市事務所が設立されました。業務内容は貿易の振興、企業進出の支援、観光事業や食品などの販売促進のほか、文化・教育交流の支援も行います。

「北海道・北東北（青森・秋田・岩手）三県シンガポール事務所」は97年に設立された北海道シンガポール事務所と元々親交の深い北東北三県が合同事務所という形で昨年の10月にオープンしました。現在、北海道職員からの出向者が所長、副所長として2名勤務し、サポートするローカルスタッフ3名を入れて、合計5名で運営されております。日本人スタッフ以外の運営費は事務所の家賃その他を一道、三県で補うので、約1/4になるそうです。

オープニングセレモニーはフラトンホテルで行われ、北海道から高橋はるみ知事や岩手県の増田知事、青森県からは代理で小比類巻県議会副議長、長谷川出納長、シンガポールからは楨田大使やリー-International Enterprise Singapore CEO（シンガポールで企業の国際活動を支援する政府機関会長）が出席しました。在住邦人は主に各県人会のメンバーが200名ほど参加され、大変賑やかでした。

事務所はシンガポールでは東京丸の内にあたる金融街の中心地ラッフルズプレイスにあります。OCBC銀行（華僑銀行）シンガポール本店ビルの37階、世界三大がっかり観光名所で有名なマーライオンから徒歩約5分です。

札幌に合同事務所があるのも一つのご縁でしょうか、海外では韓国のソウルにつぐ、2番目の合同事務所になりました。シンガポール以外にも中国や台湾、香港、東南アジアが担当の範囲です。

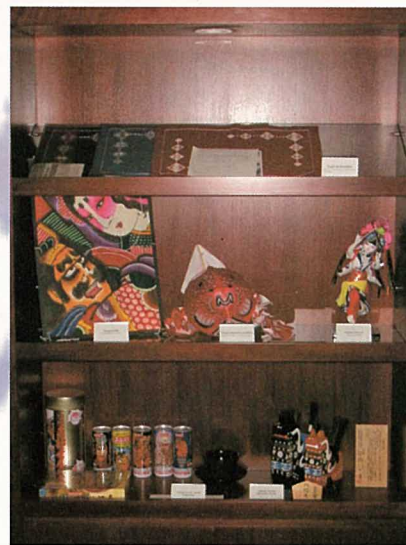
事務所には各県ごとのブースがあり、観光や産業、食品関係のパンフレットが日本語だけでなく、英語版もそろっております。青森はりんごを筆頭にはたてやヒバ、長芋が表紙の4種類のパンフレットがインパクトがありました。お土産コーナーでは、こぎんざし、津軽だこ、ねぶた漬け、リンゴジュース、そして八戸の八幡馬が展示されています。

中川副所長にお話を伺ったところ、青森県の物産展は、1月にマレーシアのクアラルンプールのツインタワーにある伊勢丹で2週間にわたって行われました。水産やリンゴの加工品、にんにくなどが好評で日本以上の料金設定にもかかわらず、お金持ちの華僑系の方が購入し、客単価は高く成功したそうです。

観光では3月にシンガポール最大の政府観光局主催による旅行説明会、ナタスフェアが3日間あり、約1万4千人が参加しました。青森県は北東北合同のブースを作ったところ、多くの方が訪れ、北海道・東北ツアーのパッケージが大変好評だったそうです。お薦めの観光地を旅して良かったとお礼のメールを何通か受け取ったそうで、成果も出ているようです。

事務所がオープンして8ヶ月ですが、色々な面で活動され、知名度もあがっている話を聞きますので、今後より多くの活躍を期待します。

挨拶が最後になりましたが、シンガポールを担当することになりました樋口と申します。8月で3年の在住となります。近くにお寄りの際は、ご連絡頂ければ幸いです。



お土産コーナー

八戸港の貿易概況報告 (2004年1月～3月)

039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階
 日本貿易振興機構 (JETRO) 八戸情報デスク TEL:0178-72-1850 FAX:0178-72-1503

<概況>

輸出額においては、有機化学品が不調であったが、電気機器・フェロニッケル・鉄鋼製品等の好調により増加(前年比156.2%)。主な仕向国として、台湾・韓国・中国などが挙げられる。また、輸入額においては、重油等が不調であったが、ニッケル鉱・金属製品等の好調により増加(前年比147.7%)。主な仕出国として、アメリカ・中国・チリなどが挙げられる。なお、外国貿易船入港数は、パナマ・韓国・シンガポールなどより135隻。

■平成16年1月～3月の貿易額 (単位：千円)

※資料：八戸税関支署発表の貿易統計から抜粋

輸 出

品名	単位	今年累計		前年対比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
船 舶	NO	1	3,630,000	16.7%	121.9%
フェロニッケル	MT	28,116	7,649,183	128.9%	199.3%
有機化学品	KG	486,050	132,794	95.4%	27.7%
紙 製 品	MT	1,222	135,943	98.1%	99.3%
一 般 機 械	MT	666	174,547	111.6%	67.1%
鉄 鋼 製 品	MT	17,421	639,340	166.4%	134.8%
飼 料	MT	1,757	83,268	133.0%	118.9%
魚 介 類	MT	1,643	167,449	97.7%	130.7%
亜鉛塊	MT	0	0	全減	全減
電 気 機 器			3,895,164		220.1%
そ の 他	—		483,790		27.8%
合 計	—		16,991,478		156.2%

●コンテナ貨物通関額 () 内は前年対比

輸 出	86億3885万 (159.2%)
輸 入	109億9806万 (316.8%)

●コンテナ貨物通関本数 () 内は対前年比

輸 出	1,702TEU (119.9%)
輸 入	2,960TEU (110.9%)
合 計	4,662TEU (114.0%)

輸 入

品名	単位	今年累計		前年対比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
ウッドチップ	MT	224,706	3,361,854	100.6%	97.0%
とうもろこし	MT	214,175	3,568,935	99.5%	103.0%
ニッケル鉱	MT	777,692	3,873,521	141.4%	185.3%
木 材	CM	27,398	600,354	75.6%	73.6%
亜鉛鉱	MT	24,914	745,380	83.8%	105.3%
大豆粕	MT	66,099	2,319,105	125.9%	153.2%
魚 介 類	MT	1,751	814,237	93.7%	78.4%
飼 料	MT	11,275	272,066	90.6%	78.5%
石 炭	MT	156,823	648,343	118.7%	109.4%
こうりゃん	MT	52,689	873,920	112.5%	107.5%
ウッドパルプ	MT	4,909	254,210	115.8%	130.1%
カオリン	MT	10,210	199,336	101.6%	96.4%
肥 料	MT	5,313	98,543	92.1%	84.9%
重 油 等	KL	5,444	151,350	25.5%	24.6%
コークス等	MT	21,355	362,830	83.8%	103.0%
鉛 鉱	MT	0	0	全減	全減
金属製品	MT	906	285,989	125.5%	155.0%
その他穀物	MT	3,758	53,734	96.3%	98.3%
糖 蜜	MT	1,050	6,363	38.8%	25.9%
一般機器	MT	1,153	223,398	231.5%	127.3%
そ の 他	—		9,838,764		456.9%
合 計	—		28,552,232		147.7%

上海の水産物市場

日本貿易振興機構 (JETRO)
 青森貿易情報センター
 TEL 017-734-2575
 FAX 017-773-2877
 030-0822 青森市中央1-23-5 明治生命青森中央ビル7階

上海の農水産物市場では市民の所得向上に伴い、健康、安全、簡便、ブランド、洋風化、多様化といったニーズが強まり、従来の動物性蛋白源であった豚肉、卵に代わって水産物の地位向上が顕著となっている。

上海における日本水産物(加工品を含む)への評価は高く、市内の和食レストランも急激に増加しており、すでに300件を超えている。このような和食レストランの急速な展開状況から日本水産物の品目、数量は増加傾向にあるとみられている。

市内の日本食材店においては、現在顧客の8割を占めるのは在留邦人(2万～3万人)で、その他が在留台湾人40万～50万人、

在留香港人約4万人と一部の中国人富裕層である。顧客単価は、日本人が900円であるのに対し、台湾人・香港人・中国人富裕層は3,000円と日本人の3倍以上となっている。

日本からの水産物輸出に関しては、煩雑な手続き、検疫問題に加え、物流ソフトやコールドチェーン網の未整備もあり、限られた範囲での流通にとどまっているが、今後、中国人富裕層の増大が見込まれており、輸出実績のあるホタテの冷凍貝柱、刺身用マグロを核に、寿司ネタ用の生食商材が有力な輸出品として期待できる。上海市内の日本食材店での水産物の販売状況は以下のとおりである。

1元=14円で計算

品目	単位	単価	品目	単位	単価
アジ開き	1枚	196円	たこわさび	80g	245円
かれい一夜干し	1枚	249円	ホタテ(生食用)	100g	420円
北海道ほっけ開き	1枚	392円	かんぱち刺身	1パック	406円
縞ほっけ一夜干し	1枚	532円	刺身盛り合せ(大)	80g	672円
生ワカメ	150g	112円	しめさば	1パック	280円
イカ塩辛袋入り	50g	140円	サケフレーク	60g	350円

※ジェトロ水産物現地市場調査(2003年11月)より



AIRA会員紹介

今回は株式会社黄金工務店様をご紹介いたします。
昭和36年4月に「黄金工務店」として設立されましたが、昭和47年4月に組織変更し、現在の株式会社黄金工務店となりました。

会社所在地の青森市を中心に営業活動を行っています。

主な業務として、公共工事やビル・アパート建設、住宅事業部では、注文住宅、在来工法を中心に、スチールハウス、RC外断熱工法なども手がけております。

輸入住宅の取扱は、フィンランドログ工法で、日本の基準では、大規模面積の建築実績もあります。



株式会社 黄金工務店

〒030-0911 青森県青森市造道二丁目10-17

TEL.017-741-8451(代) FAX.017-742-5218

設立：昭和36年4月

資本金：3,000万円

代表者名：代表取締役 黄金崎 克巳

・建設許可

特定建設業 建築工事業 青森県知事許可(特-13)第61号

一般建設業 土木工事業 青森県知事許可(般-13)第61号

・住宅性能保障登録業者 業者登録番号10002357

・建築士事務所登録 登録番号 青森県知事(A1 第581号)

所属団体

(社)青森県建設業協会

東青支部監事

(社)青森市建設協会

理事

(社)青森県建築士会

相談役

(社)青森県建築士事務所協会

正会員

建築業労働災害防止協会青森県支部

正会員

青森商工会議所

正会員



AIRA会員募集

AIRAでは輸入住宅を取扱っている、または今後取扱を希望している、住宅・建材関連企業の方々を募集しています。AIRA会員には以下のような特典があります。

1. ジェトロ推薦講師によるセミナーへの参加。
2. 貿易センターの施設が優待料金にて使用できる。
3. 各種貿易相談を受けられる。
4. 輸入住宅および部材についての情報が受けられる。
5. 輸入住宅海外視察ミッション等への参加(自己負担あり)ができる。

AIRA:青森県輸入住宅促進協議会 事務局

〒039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 (株)八戸港貿易センター内

Tel: 0178-72-1505 Fax: 0178-72-1503

<http://www.aira.ne.jp>

カタログ・資料をご希望の方はAIRA事務局へ。送料とも無料でお送りします。

■AIRA会員

会社名	連絡先住所	電話
丸喜株式会社齋藤組	青森市中央二丁目1-17	017-777-3329
株式会社ピアス	八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター4階	0178-72-1513
株式会社黄金工務店	青森市造道二丁目10-17	017-741-8451
株式会社トーリン	むつ市金谷一丁目14-23	0175-22-6333
南部木材株式会社	八戸市吹上一丁目1-13	0178-45-4331
有限会社アメリカンスタンダードホーム	八戸市青葉三丁目2-25	0178-44-1011

Aomori Import Residence Association

<住所は全て青森県内です>

会社名	連絡先住所	電話
株式会社角弘	青森市新町2-5-1	017-723-2222
株式会社鎌田建設工業	青森市古館安田11-24	017-741-2063
グッドワークトレーディング有限公司	八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター2F	0178-72-1560
株式会社テアオー小笠原	青森市東造道三丁目6-3	017-736-2000
株式会社ファーストインターナショナル	八戸市廿三日町2 YSビル3階	0178-71-2282

Aomori Import Residence Association

	コンテナ航路	船社名等	集荷代理店	寄港間隔	主な寄港地
外航	東南アジア航路	PIL	八戸通運	1便/週	[寄港地] 台湾(基隆、台中、高雄)、中国(香港)、シンガポール [接続地] 東南アジア全域、豪州、欧州、他
	中国・韓国航路	南星海運(株)	八戸港湾運送	2便/週	[寄港地] 韓国(釜山)、中国(上海、青島) [接続地] 中国、欧州、北米、南米、豪州、他
	北米航路	WSL	八戸港湾運送	1便/月	[寄港地] アメリカ(シアトル)、カナダ(バンクーバー)
内航	内航フィーダー航路	(株)横浜コンテナライン	八戸通運	1便/週	[寄港地] 横浜 [接続地] 世界各地

PIL: Pacific International Lines (Singapore) WSL: Westwood Shipping Lines (U.S.A)

主な寄港地～八戸港の所要日数(最短)

寄港地	所要日数(日)	
	輸出	輸入
釜山(韓国)	2	4
光陽(韓国)	4	10
基隆(台湾)	6	8
高雄(台湾)	7	9
香港(中国)	8	11
大連(中国)	9	8
青島(中国)	5	8
上海(中国)	7	7
天津(中国)	9	8
寧波(中国)	8	8
蛇口(中国)	11	13
シンガポール	13	15
ジャカルタ(インドネシア)	17	22
バンコク(タイ)	17	20
レムチャパン(タイ)	17	17
マニラ(フィリピン)	20	21
ホーチミン(ベトナム)	20	20
ロングビーチ(米国西岸)	16	18
シアトル(米国西岸)	21	13
チャールストン(米国東岸)	30	23
ニューヨーク(米国東岸)	29	22
バンクーバー(カナダ)	23	13
ブリスベン(オーストラリア)	25	17
オークランド(ニュージーランド)	25	26
サウサンプトン(イギリス)	29	35
ルアーブル(フランス)	30	35
ブレーメルハーフェン(ドイツ)	32	35
ロッテルダム(オランダ)	33	30

PACIFIC INTERNATIONAL LINES (JAPAN) LTD.

PILジャパン(株)代表取締役 阿部良雄氏



PILジャパン(株)の前身であるPSS(Pacific Shipping Service)は1988年に創立され、翌1989年にPILジャパンに社名を変更、現在に至っている。

本社、PIL(PTE)Ltd.は1967年シンガポールに設立され、今年3月現在で90隻のコンテナ専用船を所有/運航するアジアでも有数の船社です。

当社本船が八戸港に最初に入港したのは“TradeFast”号で1994年8月です。当時は日本海と太平洋の2つのサービスに分かれておりましたが、現在は1,088TEUのコンテナ専用船をもって毎週定曜日に富山、新潟、苫小牧、八戸、仙台及び日立の順に寄港し台湾、香港、シンガポールに直行、香港より中国に、又シンガポールからインド亜大陸、紅海、ペルシャ湾、全アフリカ、ニュージーランド、オーストラリアに、また今年4月よりスエズ経由によるヨーロッパ航路を開始致しました。

現在の住所及び電話/ファックスは：

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1
インペリアルタワー8階
TEL:03-3593-7703(代表)
FAX:03-3593-7709

今後益々サービスの向上に努め、皆様のご要望に答えるべく努力を致してゆく所存です。

一層のご支援を賜りたく宜しくお願い申し上げます。

編集後記

今年アテネオリンピックが開催される年です。ついこの間シドニーオリンピックが終わったばかりだと思っていたら、もう4年も経ってしまったようです。時の経つのは早いものですね。今年初めから、様々な種目の予選が行われ、八戸市出身の選手も日本代表に選ばれております。日本代表選手の皆さんにはがんばってもらいたいものです。

さて、八戸港は国際コンテナ定期航路が開設して、早くも10年を迎えました。貿易量は年々増加しており、今後も一層の利用促進に努めてまいります。皆さんぜひ八戸港をご利用ください。

海上コンテナ輸送の御用命は「八戸港国際物流拠点化推進協議会」加盟の各社へ

- 八戸通運株式会社(海運営業所) TEL:0178-29-0202 FAX:0178-20-3281
- 八戸港湾運送株式会社 TEL:0178-29-3177 FAX:0178-29-3119
- 新丸港運株式会社 TEL:0178-20-2321 FAX:0178-20-2353
- 八戸運輸倉庫株式会社 TEL:0178-28-2401 FAX:0178-28-6976
- 三八五流通株式会社 TEL:0178-52-7755 FAX:0178-52-7751
- 日本通運株式会社八戸支店 TEL:0178-27-3311 FAX:0178-27-5520
- ナラサキスタックス株式会社八戸支店 TEL:0178-20-1651 FAX:0178-20-2444

青森県・八戸市・八戸商工会議所・八戸港振興協会
株式会社青森銀行・株式会社みちのく銀行・八戸信用金庫

八戸港国際物流拠点化推進協議会 Hachinohe Port Promotion Commission

〒031-8686青森県八戸市内丸一丁目1-1 八戸市経済産業政策課内
TEL:0178-43-2111(代表) e-mail: hppc@hi-net.ne.jp Homepage: www.hi-net.ne.jp/hppc

(株)八戸港貿易センター Hachinohe Port Trade Center Co., Ltd.

〒039-1162青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階
TEL:0178-72-1505 FAX:0178-72-1503 e-mail: mail@hptc.co.jp Homepage: www.hptc.co.jp

